

第6次入間市総合計画 基本構想・後期基本計画パブリックコメント対応方向一覧

【凡例】
○…原案に反映した意見
×…原案に反映しなかった意見
―…対応不要な意見(意見のみ)もしくは既に対応済。

節・項名等	意見の概要	修正 要否	対応	NO
まち・ひと・しごと創生総合戦略				
1 基本方針 (1) 戦略の位置づけ	記述のある「国の総合戦略」、「政策5原則」、「政策4分野」、「KPI」について巻末資料編に解説記述を検討してください。	×	全てを資料として記載すると膨大なページ数になってしまうため、一部に注釈を加えることを検討します。	1
6 施策内容 基本目標3「子どもの育ちを支える」	生活困窮者の子ども達が経済的理由により大学等の高等教育を受けることができないことによる貧困の連鎖が社会問題となっています。入間市でも福祉施策の一環として、学生支援をされているようですが、希望する子ども達を今後とも強力にバックアップしていただきたい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	2
6 施策内容 基本目標3「子どもの育ちを支える」 基本施策：子どもの生きる力を育む	ゆとり教育の弊害だと思いますが、小中学生の学力が低下していると思います。塾等の民間に頼らず公教育を充実させ、入間市の未来を任すことのできる優秀な人材を育てて欲しい。 そのためには学校(教職員)が地域と一体となって学力向上のためのプログラム(GIGAスクール構想)、環境整備(放課後子ども教室)等に教育委員会や子ども支援部等、全庁をあけて注力していただきたい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	3
基本構想				
財政見通し	前期計画に比べ、令和4年度以降の①依存財源が40億弱に、②歳入・歳出乖離額が増えている。記述において一步踏み込んだ表現を検討してほしい。	×	ここは計画の基本指標を説明しています。 この指標を踏まえ、市の現状や課題をどう把握しているかにつきましては、「計画の実現に向けて」で記述しています。	4
土地利用構想	入間市は立地適正化計画を作成していないのだから、ロードサイド(特に国道沿い)を積極的に開発し、市外から人を呼び込んで欲しい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	5
土地利用構想	市内木蓮寺地区に農地を所有しています。 計画では金子地区の一部と都市的土地利用として工業系土地利用推進エリアと位置付け、自然的土地利用としても金子地区は農業地域として利用を進めるとしています。 私は金子地区が発展することを望んでいます。上記2つの利用の進め方が両立する方向で実施されることを期待します。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	6
土地利用構想	圏央道青梅インターチェンジ北側地域における工業系土地利用の推進は地域にとっては光明と感じる。是非推進すべき事だと思う。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	7
第1章 つなぐりを大切にしまちづくり				
第1節 人権の尊重と権利の擁護 第2項 多文化共生社会の推進	現状で記述されている点は「地域住民と外国人市民との交流の機会」と「外国人市民への情報提供」と思われるが、現場で外国人と接している立場から意識する現状と一致していない。また、施策の課題についても自治会活動が最初に挙げられているが、次の課題である「共通認識」や「恒久平和」という大きな課題とのバランスが取れていないように感じる。 そこで、この項全体として、埼玉県『多文化共生推進プラン』を参考にすることを提案するとともに、「定住する外国人が自立して生活できるように支援すること」と「外国人の持つ力を地域に生かすこと」の2点を考慮し、この項を見直すことを提案します。	○	ご提案いただいた点は重要な視点として捉え、第2項の施策の課題の一部である「自治会活動に対して、外国人市民も参加しやすい環境を整備することが必要です。」を「自治会活動を中心とする地域活動において、外国人市民も参加し、共に活躍できる環境を整備することが必要です。」と修正することで、その視点に言及し、ご指摘いただいた外国人市民の現状を踏まえ、具体的な施策展開につなげていきたいと考えています。	8
第3節 コミュニティ活動の充実	自治会の加入率が減少している要因をまず分析する必要があります。特に自治会に加入する必要があるのか市民の立場から分析する必要があります。 高い自治会費を払ってほとんどサービスを受けられていないと思う住民は少なくないのではないのでしょうか。毎年同じ事業を実施している自治会活動に魅力を感じなくなっているのではないのでしょうか(自主防災会活動も含む)。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	9
第2章 学びあいのまちづくり				
第3節 社会教育の充実	社会教育・生涯学習の中心となる公民館の稼働率が向上しない現状にあります。自治会加入率の減少問題と同じく公民館稼働率が向上しない要因を分析する必要があります。公民館職員の企画力が乏しく「貧館化」しているのではないのでしょうか。 将来的には地区センター化するなかで、民間事業者のノウハウも取り入れ、地域住民の社会教育・生涯学習に役立つ真に魅力的な事業を展開すべきでしょう。安価で利用できる公民館活動に大いに期待しています。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	10
第3章 ささえあいのまちづくり				
第4章 住みやすく緑豊かなまちづくり				
第2節 都市基盤の整備と維持管理	土地区画整理事業が長期化すると事業費の膨大化や建築制限の長期化のみでなく、武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業における清算金問題のような事態が発生します。 自治会加入率問題・公民館稼働率問題と同じく両土地区画整理事業(入間市駅北口区画整理事業および扇台土地区画整理事業)がなぜ長期化しているのか、その要因を分析する必要があります。そのうえで、地権者の満足する改善策を構築し、早急に実行することが肝要と考えます。 杉島市長の公約にある「失敗を恐れずチャレンジする」精神がきわめて重要と考えます。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	11

第6次入間市総合計画 基本構想・後期基本計画パブリックコメント対応方向一覧

【凡例】
○…原案に反映した意見
×…原案に反映しなかった意見
―…対応不要な意見(意見のみ)もしくは既に対応済。

節・項名等	意見の概要	修正 要否	対応	NO
第5章 活気に満ちたまちづくり				
第4節 市民文化の振興 第2項 市民文化の振興	市民会館施設整備・運営事業について、先日開催された「入間ドック」において事業の見直しについて議論されました。また、9月定例会で野口議員からも質疑がありました。確かに産業文化センターはリニューアルされましたが、1,000席以上を有する市民会館は市民の文化活動の振興においては重要な施設です。耐用年数と耐震化のための大規模修繕費用とのバランスの問題はあると思いますが、杉島市長の知恵と工夫を発揮され、入間市の市民文化に支障をきたさないよう判断されることを切に望みます。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	12
第6章 安全で安心してくらせるまちづくり				
第1節 危機管理体制の充実	入間市民の生命・身体（健康）・財産を守るとは市役所に課せられた責務であり、第一に取り組むべき重要な任務です。杉島市長の公約集P11、P12にある危機管理対策本部（入間市版FEMA）や感染症対策本部（入間市版CDC）の設置を早期に実現するため全庁をあげて取り組んでいただきたい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	13
第1節 危機管理体制の充実 第6項 空家等対策の推進	入間市でも少子高齢化が進み、空家が増加していくと思われます（人口減少による）。周辺環境の安全確保のため所有者等へ適正な管理を促すだけでなく、特定空家等に認定し、強制代執行まで検討するケースについては果断に実行していただきたい。また、空家等の利活用も進め、移住促進にも注力していただきたい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	14
計画の実現に向けて				
第3節 担い手の最適化 第3項 民間活力の有効活用	例えば「地区センターにおける公民館機能」や「加治丘陵さとやま事業」など事業の活性化を図るために民間業者の知恵や工夫、ノウハウを活用することは極めて重要と考えます。また、民間業者を競わせることでより良い知恵や工夫、ノウハウが生まれ、それが市民サービスの向上につながるものと考えます。是非ともPPP、PFI等を強力に進めていただきたい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	15
第4節 事務事業の最適化	今般初めて開催された「入間ドッグ」は事務事業をゼロベースで検討するという杉島市長の肝いりで実現し、大成功であったと評価します。入間市の財政状況は今にも厳しくなっていくことが予想されます。失敗を恐れず、勇気をもってすべての事務事業を一度ゼロベースで見直すことも必要ではないでしょうか（真に入間市民にとって必要なか）。そのためには職員（現場担当者）一人ひとりの意識改革が重要であり、漫然と事業を執行するのではなく、「市民の声」を普段から十分聞き、改善点あるいは不要点を検討する姿勢を常に持ち続けていただきたい。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	16
その他				
問題や課題への言及	巻頭に、前期計画後半2年（2020.4～2022.3）の環境下（コロナ）に触れた記述を検討してほしい（市長の挨拶内容に盛り込む等）。併せて少子高齢化や社会保障制度、生活困窮者等の諸問題への言及も検討ください。	―	ご意見の内容につきましては、今後策定する序論における計画策定の背景と課題で触れる想定です。	17
成果指標	目標値の設定は、前期中間総括を推計したものと思われるが、設定が曖昧な項目があると感じる。	―	後期基本計画における成果指標につきましては、パブリックコメント実施時点では検討中であったため、原案には前期基本計画における成果指標を記載しております。ご意見については、今後の成果指標設定の際に参考にさせていただきます。	18
成果指標	第1章から第3章の指標は市民との協働となる事業が多い為、関係部署への一層の取組強化が必要と思われる。	―	後期基本計画における成果指標につきましては、パブリックコメント実施時点では検討中であったため、原案には前期基本計画における成果指標を記載しております。ご意見については、今後の成果指標設定の際に参考にさせていただきます。	19
成果指標	第4章から第6章の指標は公共事業関係での提起内容で、申し分無いと感じる。	―	後期基本計画における成果指標につきましては、パブリックコメント実施時点では検討中であったため、原案には前期基本計画における成果指標を記載しております。ご意見については、今後の成果指標設定の際に参考にさせていただきます。	20
ご意見	公共施設マネジメント事業は、一層の推進強化を。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	21
ご意見	職員の効率化と業態の削減・見直しなどで、人員削減は有ってはならない。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	22
ご意見	OB職員の積極的活用を一層推進すべきと感じる。	―	貴重なご意見として、今後具体的な事業を検討する際に参考にさせていただきます。	23
巻末資料	巻末資料編に前期計画の中間総括を記載すべき。	○	記載する方向で検討します。	24